

平成31年2月25日

愛媛大学

「芭蕉和紙のロゴマーク発表」

～学生・デザイナー・県職員との協働による
取り組みについての発表会を開催します～

愛媛大学社会共創学部の芭蕉和紙プロジェクトチームでは、平成29年度から、愛媛県南予地方に植生する“バショウ”から和紙（芭蕉和紙）を作製し、芭蕉和紙の製品化を柱とした活動に取り組んできました。芭蕉和紙には多様な可能性が考えられることから、芭蕉和紙そのもののブランド化が必要と判断し、芭蕉和紙のロゴマークを作成するワークショップを愛媛県、デザイナー及び学生が協働で実施してきました。当日は、ロゴマーク作成に関わった学生から、芭蕉和紙プロジェクトの活動を紹介するとともに、完成したロゴマークを発表したいと思います。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

◆ロゴマーク発表日程等

開催日時：平成31年3月1日（金）10：00～

開催場所：愛媛大学社会共創学部サイエンスラボ3

（松山市文京町3 愛媛大学城北キャンパス総合研究棟Ⅱ 3階）

発表内容：学生がこれまで取り組んできた内容をパワーポイントで発表します。

ワークショップ参加者：

愛媛県産業技術研究所 藤田雅彦主任研究員（コーディネーター）

薬師神親彦氏（デザイナー（宇和島市在住））

ワークショップについて：デザインに精通しているコーディネーターの下、学生がデザインの基礎を学びながら、芭蕉和紙活動の振り返りや芭蕉和紙の未来像を3者で議論・可視化し、最終的に形（マーク）にしていく作業を行った。

※送付資料5枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先
社会共創学部事務課総務チーム
TEL：089-927-8177
Mail：crisoumu@stu.ehime-u.ac.jp

1. 背景・目的

- ・ 愛媛県大洲・内子などの南予地方は古くから和紙産業が盛んであった。
- ・ 近年は、和紙の需要低迷や後継者不足に伴い、手すき事業者も数件にまで激減してしまっただ。



大洲・内子地方に新たな地域産業を起こすためには、素材を含めた、新たなイノベーションが必要である

2. バショウとは？



バナナの1種、バショウ科

愛媛県 内子町、大洲市、西予市などの南予地方（温暖な地域）

3. 芭蕉和紙について



薄くて、丈夫な透明の和紙



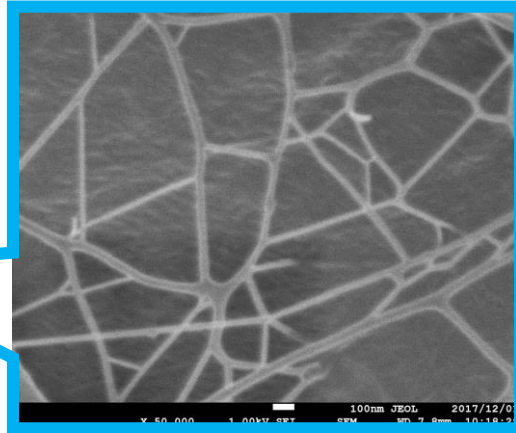
太い繊維
細い繊維

芭蕉和紙と命名

平成29年度から芭蕉和紙を新たな地域産業とすべく活動を開始

4. 芭蕉和紙の特徴

①透明性

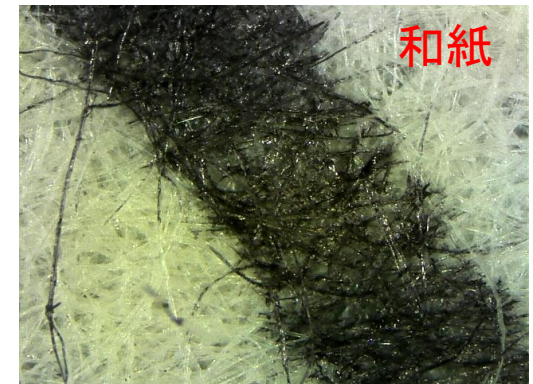


セルロースナノファイバー
(CNF)

②染色性



③滲みにくい



5. 芭蕉和紙プロジェクトの活動

第4回松山「地域クラウド交流会」29.11.24 in 松山



優勝！！

輝け!!第2回地域クラウド交流会 全国
グランプリ大会30.11.8 in 幕張

9人中4位の高成績！



第4回 いよぎんビジネスプラン
コンテスト 29.12.5 in 松山



新素材活用賞！



多様な可能性！

商品化への機運高まり



和紙そのもののブランド化へ

6. 芭蕉和紙のブランドマークづくり

○芭蕉和紙のブランド化のために、芭蕉和紙のロゴマークを作成するワークショップを平成30年10月から計7回実施してきました。

○ワークショップでは、デザインが専門の県職員（愛媛県産業技術研究所 藤田雅彦 主任研究員）をコーディネーターとし、宇和島市在住のデザイナー（薬師神親彦氏）にデザインの基礎を学びながら、芭蕉和紙活動の振り返りや芭蕉和紙の未来像を3者で議論・可視化し、最終的に形（マーク）にしていく作業を行いました。

